

企業の海外進出を成功させるために必要な企業行動

1 2 3 0 4 9 3

長野 宏紀

指導教員

金 東勲

研究背景

日本では知らない人がいないような企業でも、海外進出を行い、撤退する事例がいくつも存在する。同じ業種でも海外進出を成功させる企業も存在することを考えると、成功を収めるために必要な企業行動が存在するはずである。しかし、海外進出にも様々な方法が存在し、種類ごとに議論されているものは多く存在するが、海外進出という大きな枠の中での成功要因を議論するものは多くない。

研究目的

本研究は、業種別によるM&A、FC契約での海外進出を事例として取り上げ、様々な業種の企業が海外進出において成功を収めるために必要な企業行動が存在するのか否かを理解することを目的とした。

研究方法

分析方法として事例分析を行う。M&Aによる海外進出事例としてキリンホールディングスとサントリーホールディングスを取り上げ、FC契約による海外進出事例として重光産業一味千ラーメンと餃子の王将を取り上げた。海外進出の方法ごとに比較を行った後、それぞれの共通点を探ることで成功要因を探った。

分析結果

「本社との連携」、「ターゲット市場に対して「特別感／差別化」このどちらか1つしか出来ていなかった企業は撤退をしており、両立していた企業は成功を収めていた。このことから、海外進出での成功要因としてこれら2つが存在することを確認した。

考察・結論

海外進出において、成功を収めるための企業行動が存在するか否かを確認することを目的として事例分析を行った結果、「本社との連携」に加えて「ターゲット市場に対して「特別感／差別化」が必要だという2つの企業行動を確認できた。しかし、本研究で確認できたものは飲食関係によるものであり、様々な業種というものからは離れてしまっている。関連性のない業種でもこの2つの企業行動を実行することで成功を収めることはできるのだろうか。